

# 障がい福祉サービス



木村 尚美

私が左手に障がいのある利用者さんのケアに入らせていただくようになり、もう 17 年目になります。

初めて訪問させていただいた時は部屋に義手が置いてあり、間近で義手を見るのが初めてだった私は、とても驚いたのを今でも覚えています。

最初は、薬の容器やペットボトルの蓋を開けて欲しいと言われた時「なんでこんな事が出来ないのか？」と、不思議に思ったりもしました。自分では日常の生活の中で何も考えずに出来ている事が、障がいのある方にとっては、できない事がたくさんあるのだという事を実感しました。今では台所に薬の容器などが並べてあれば指示されなくても開けておく事が普通になり、ツー・カーの仲（！？）になりました。

障がいのある方のケアに入らせていただいている事で、人間の身体はどの部分が欠けても日常生活にさまざまな支障をきたすのだと勉強させていただきました。

これからも障がいのある利用者さんのケアに入る事で自分自身のスキルアップにつなげられるよう努力していこうと思います。

